

新潟市BRT第1期導入区間運行事業

第一提案書作成要領（案）

1. 提案書の構成

提案書は、次のとおりの構成とすること。

■新潟市BRT第1期導入区間運行事業 提案書【別紙表紙】

■提案企業の概要

- (1) 提案企業の概要【別紙様式1】
- (2) 一般旅客自動車運送事業の概要【別紙様式2】

■第一提案の内容（別紙様式3～9）

別添配布資料「新たな交通システム導入基本方針」及び「BRT第1期導入区間運行事業第一提案に係る
与条件」を踏まえて作成すること。

- (1) 本事業における取り組み方針（A4 縦1頁）【別紙様式3】
- (2) 本事業に係る企画提案概要
 - 1) 本事業における運行計画概要（A4 縦1頁）【別紙様式4】
 - 2) バス路線再編計画概要（A4 縦4頁以内で記入，路線網図はA3で別途作成）【別紙様式5】
- (3) 本事業に係る企画提案の詳細について
 - 1) 本事業における運行計画の詳細について（A4 縦2頁以内）【別紙様式6】
 - 2) BRT車両基地（車庫）について（A4 縦1頁）【別紙様式7】
 - 3) バス路線再編計画の詳細について（A4 縦2頁内）【別紙様式8】
 - 4) 本事業に課連するその他提案について（A4 縦1頁）【別紙様式9】

※バス路線再編計画に関する路線網図および一覧表について

第一提案の内容のうち、「(2) 2バス路線再編計画概要」と「(3) 3) バス路線再編計画の詳細について」
で添付する路線網図および一覧表については、A3横の任意様式で作成すること。

2 提案書の書式等

- (1) 第一提案は、別添様式に従って作成することを基本とするが、よりわかりやすく作成することができる場合、ページ数が大幅に増えない範囲で任意様式により作成してもよい。ただし、提案必要項目については網羅すること。
- (2) 第一提案は、別添様式の表示項目・必要項目を満たしていれば、提案書を作成するソフトウェアや書体、文字サイズ等は問わない。ただし、提案内容の本文については文字サイズを10ポイント以上とすること。
- (3) 第一提案の用紙の大きさは、様式に記載の用紙サイズ・用紙の向きに従い作成する。
- (4) 第一提案に使用する言語は日本語、通貨は日本円、単位は日本の標準時及び計量法によるものとする。
- (5) 第一提案は、各様式の上段に記載の「記入上の注意事項」等の定めに留意し作成する。
- (6) 第一提案はホチキス留めなどの製本は行わず、ダブルクリップ等で様式順に止める。
- (7) 様式1～9の作成にあたっては、以下の事項に留意する。
 - ① 提案内容は文章で簡潔に概要を記述すること。
 - ② 文章を補完するためのイラスト、イメージ図または図面等を使用してよい。

附 則

この要領は、平成24年9月 日から施行し、市と第一提案権者が基本協定締結に至った日の翌日にその効力を失う。

新潟市BRT第1期導入区間運行事業 提案書

(業務名) 新潟市BRT第1期導入区間運行事業

標記業務について提案書を提出します。

平成 年 月 日

(あて先) 新潟市長

(提案者) 提出企業名

(役職)

(氏名)

代表者

印

住所

電話番号

■ 提案企業の概要**(1) 提案企業の概要**

提案企業名	
代表者名	
所在地	
電話番号	
FAX番号	
開設・創設年月日	
資本金	円
前年度売上高	円
従業員（社員）数等	人

【記入上の注意事項】

※1 記載しきれない場合は、適宜行を追加するか、本様式を複数枚使用してもかまわない。

【その他添付を要する資料】（提出部数は1部）

※2 最新の事業報告書を添付してください。（様式は任意）

(2) 一般旅客自動車運送事業の概要

一般旅客自動車運送事業の下記事項について、過去10年間の実績を記載してください。

また、参考資料として旅客自動車運送事業等報告規則に基づく事業報告書及び輸送実績報告書(過去10年間)の写しを1部提出してください。

		平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業用 自動車数 (台)	延実在車両数(日車)										
	延実働車両数(日車)										
	リース車両数										
従業員数(人)											
	うち運転者数(人)										
路線(キロメートル)											
	うち休止路線(キロメートル)										
運行系統数(系統)											
走行キロ(キロメートル)											
	うち実車キロ(キロメートル)										
運行回数(回)											
輸送人員(人)											
営業収入(千円)											
	うち旅客運賃収入(千円)										
運行経費(円)											
	うち人件費(円)										
	キロ単価(円/km)										
自動車車庫数(箇所)											
	総面積(m ²)										
交通事故件数(件)											
	重大事故件数(件)										
	死者数(人)										
	負傷者数(人)										
補助金(円)	国										
	県										
	市										
本市の委託業務(円)											

※旅客自動車運送事業等報告規則に基づく事業報告書及び輸送実績報告書は、第2条2項によるもの。 ※従業員数は、兼営事業がある場合は主として一般乗合旅客自動車運送事業に従事している人数及び共通部門に従事している従業員については一般乗合旅客自動車運送事業分として適正な基準により配分した人数とする。 ※路線とは、許可(認可)を受けたすべての路線の長さのこと。 ※交通事故とは、道路交通法(昭和23年法律第105号)第72号第1項の交通事故をいう。 ※重大事故とは、自動車事故報告規則(昭和26年運輸省令第104号)第2条の事故をいう。

(1) 本事業における取り組み方針 (A4 縦2 頁以内で記入)

新たな交通システム導入基本方針の目標を実現するために、本事業における以下の4つの施策に関する取り組み方針について簡潔にA4 縦2 頁以内で記述してください。

1. BRTの運行	<p><u>確認事項</u></p> <p>① まちなかにおける公共交通を取り巻く課題を理解しているか。</p> <p>② 基本方針や事業の目的を踏まえ、まちなかにふさわしいサービス水準の提供に向けた取り組み方針が示されているか。</p> <p>③ 公設民営方式によりBRTを整備する効果をどのように認識しているか。</p> <p>④ BRT導入を契機としてバス路線再編を行うことで、全市的に持続可能な公共交通ネットワークの構築につなげようとする意向や方針は示されているか。</p> <p>⑤ 新潟市等の公共と連携し、平成26年度にBRT導入を実現するという姿勢や具体的なスケジュール案について示されているか。 等</p>
2. バス路線再編	<p><u>確認事項</u></p> <p>① 新潟市の交通課題を踏まえた取り組み方針が示されているか。</p> <p>② 全市的に公共交通の改善につなげようとする方針が具体的に示されているか。 等</p>
3. 乗換施設の設置	<p><u>確認事項</u></p> <p>① 新潟駅、市役所ターミナル、白山駅の乗換施設の特徴を踏まえた上で、これらの施設を有効に活用する方針が示されているか。</p> <p>② 公共交通相互の乗り換えを利用者に定着させるための工夫がされているか。 等</p>
4. 料金システムの見直し	<p><u>主な確認事項</u></p> <p>① 全市的に利用しやすい料金体系の方針が示されているか。</p> <p>② 乗り継ぎにより負担が増えない料金設定となる方針が示されているか。 等</p>

(2) 本事業に係る企画提案概要

1) 本事業における運行計画概要 (A4 縦 1 頁で記入)

a) 車両基地 (車庫)		①所在地 : ②面積 : ③所有者 :
b) 運行時間, 運行本数	平日	①運行時間帯 : 時 分 ~ 時 分 ②ピーク時間 : 時 ~ 時 : 本/時間 ③その他時間 : 時 ~ 時 : 本/時間
	休日	①運行時間帯 : 時 分 ~ 時 分 ②ピーク時間 : 時 ~ 時 : 本/時間 ③その他時間 : 時 ~ 時 : 本/時間
c) 料金体系 ※定額料金を想定		①正規運賃 : ②割引制度 :
d) 乗り継ぎ料金の收受方式 ※路線バスとの乗り継ぎにおける対応方法		
e) 想定利用者数 ※幅を持たせた表記でもよい		BRTのみ : 人/日 (平日・休日別) 路線バスのみ : 人/日 (平日・休日別) BRTと路線バス : 人/日 (平日・休日別)
f) BRTの組織体制と 人員 (増員) 配置計画		①運行 : ②維持管理 :
g) サービス水準を維持するための チェック事項とその体制		
h) 収支 ※路線バスについては再 編後の状況を記入するこ と	BRT	①総走行距離 : km/年 ②収入 : 円/年 ③運行経費 : 円/年
	路線バス	①総走行距離 : km/年 ②収入 : 円/年 ③運行経費 : 円/年
i) 安全対策 ※安全管理に係る組織体制や運行時の 安全対策		
j) 定時性確保の工夫 ※バス運行状況のモニタリングや乗降 (精算) の効率化等		
k) 利用促進に向けた創意工夫		
l) わかりやすさの確保の工夫		
m) 環境対策		

※数値の根拠については、「(3) の 1) 本事業における運行計画の詳細について」で記述すること

2) バス路線再編計画概要

(A4 縦 4 頁で記入, 路線網図は A3 で別途作成 ※路線網図は枚数制限を設けない)

□再編後にBRTと直接接続または重複(平行)して運行するバス路線および廃止する路線について

	現在	再編後
a) 再編①: BRTと重複(平行)して運行する路線	—	—
路線数(本)		
便数(本/日)		
総走行距離(km/年)		
b) 再編②: BRTと接続する路線	—	—
路線数(本)		
便数(本/日)		
総走行距離(km/年)		
c) 廃止: 現状でa)およびb)に該当する路線で廃止する路線	—	—
路線数(本)		
便数(本/日)		
総走行距離(km/年)		
d) 追加: 新規追加する路線	—	—
路線数(本)		
便数(本/日)		
総走行距離(km/年)		
合計総走行距離(km/年)		

e) 路線概要図(方面別に●印の断面の現状と再編後の便数を記載すること)

以下の留意点を踏まえて, 以下のイメージ図を参考に路線概要図を作成してください。

- ・方面別に1日あたり路線便数について, 現状とバス路線再編後で比較できるように路線概要図に凡例をもとに数値を記載すること
- ・方面別に●印の断面における現状と再編後の便数/日を記載すること
- ・本事業におけるBRTを含めないこと
- ・都心軸(新潟駅~市役所~白山駅)と基幹公共交通軸について, 以下のイメージ図のとおり整理するとともに, その他路線についてはバス路線再編案に応じて, 図面に追記, または新規図面を作成すること

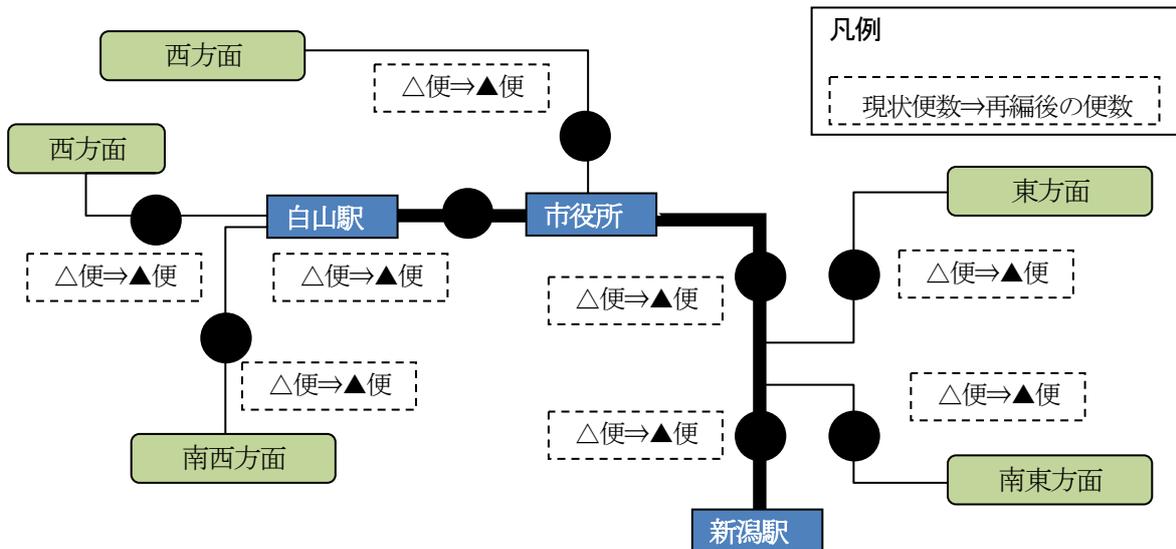


図 路線概要図の表示イメージ(その1)

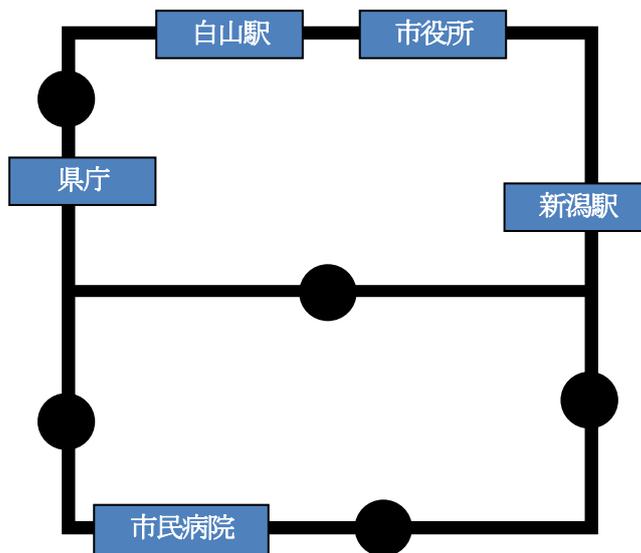
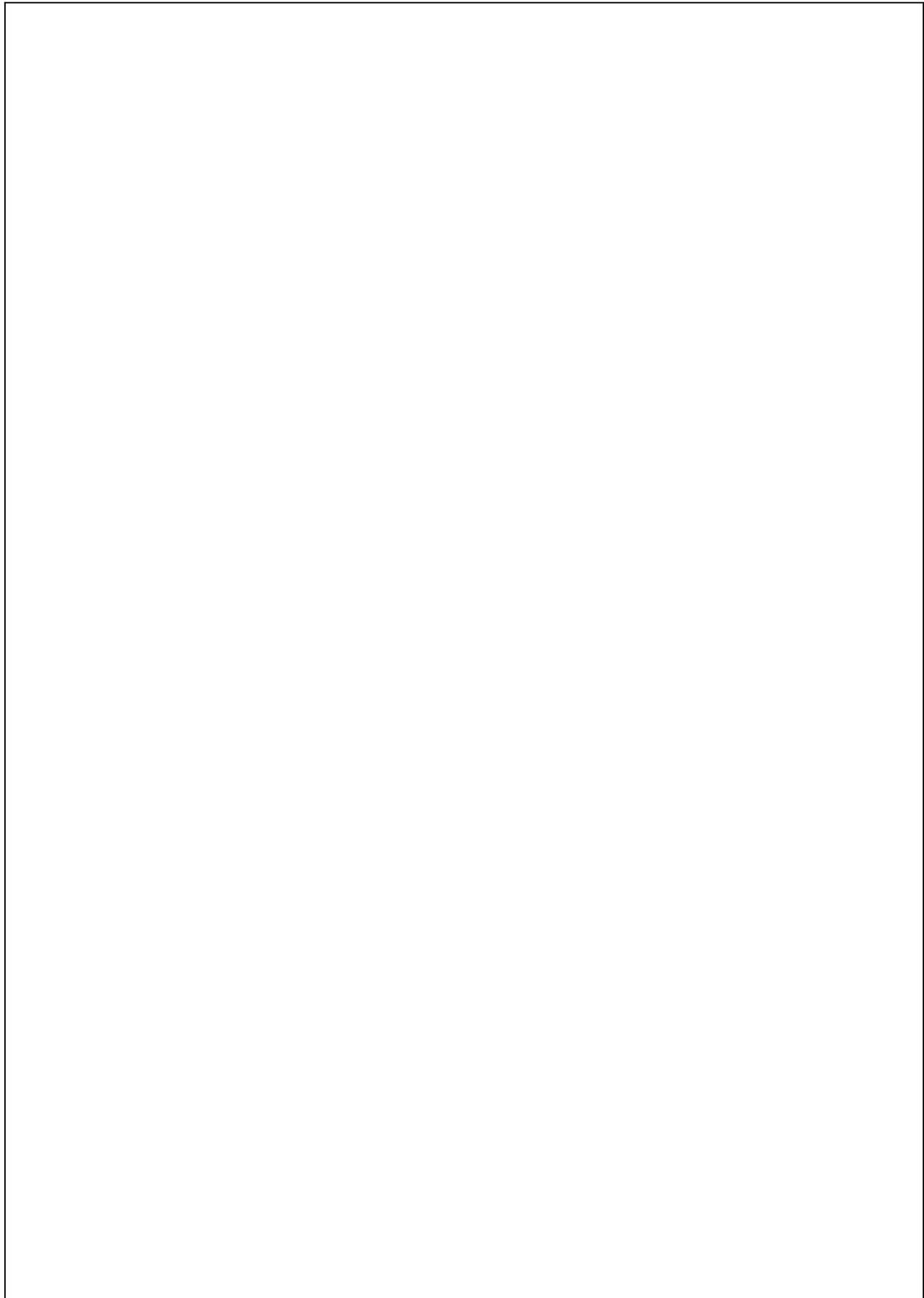


図 路線概要図の表示イメージ (その2)

f) 路線網図	<p>バス路線の現状と再編後についてそれぞれ A3 横で作成すること</p> <p>a) 再編 1 : 現状路線 (赤破線) → 再編後 (赤実線)</p> <p>b) 再編 2 : 現状路線 (青破線) → 再編後 (青実線)</p> <p>c) 廃止 : 現状路線 (黒破線) → 再編後 (黒実線)</p> <p>d) 追加 : 現状なし → 再編後 (桃色実線)</p>
---------	---

※ 数値の根拠については、「(4) 1)バス路線再編計画の詳細について」で記述すること

□再編後にBRTと直接接続または重複（平行）せず運行するバス路線		
	現状	再編後
a) 西方面の路線	—	—
路線数（本）		
便数（本／日）		
総走行距離（km／年）		
b) 南西方面の路線	—	—
路線数（本）		
便数（本／日）		
総走行距離（km／年）		
c) 東方面の路線	—	—
路線数（本）		
便数（本／日）		
総走行距離（km／年）		
d) 南東方面の路線	—	—
路線数（本）		
便数（本／日）		
総走行距離（km／年）		
e) その他 （必要に応じて追加）		
f) 路線概要図 “BRTと直接接続または重複（平行）して運行するバス路線”と同様にして、以下の留意点を踏まえて、路線概要図を作成して下さい。 ※次頁の記載における留意点を踏まえて作成して下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・バス路線の1日の往復断面合計の便数について、現状とBRT導入に伴うバス路線再編後で比較できるように路線概要図と数値を記載すること ・面別に●印の断面の現状と再編後の便数を記載すること ・“BRTと直接接続または重複（平行）して運行するバス路線”以外の路線をすべて網羅すること 		



g) 路線網図	バス路線の現状と再編後についてそれぞれA3横で作成すること 区間を変更する路線：現状路線（赤破線）→ 再編後（赤実線） 廃止する路線：現状路線（黒破線）→ 再編後（黒実線） 新規に追加する路線：現状なし → 再編後（桃色実線）
---------	--

※ 数値の根拠については、「(4) 1)バス路線再編計画の詳細について」で記述すること

(3) 本事業に係る企画提案書の詳細について

1) 本事業における運行計画の詳細について (A4 縦 2 頁以内)

第1期導入区間におけるBRTの運行計画について、様式4の記載事項に関する補足説明(運行計画を立案する上での留意点、および、数値についての根拠等)をA4縦2頁以内で記述してください。

確認事項

- ①利用者の安全性を確保するための体制や対策は提案されているか。
- ②基幹公共交通機関であるBRTに求められるわかりやすさ、定時性、利便性、快適性、低廉性等、高いサービス水準を実現する具体的な対応策は示されているか。
- ③与条件のBRT駅や交通結節点整備を踏まえて、BRTと他の交通手段との「シームレスな乗り継ぎ」について考慮され、その具体策は提案されているか。
- ④与条件のBRT走行位置での課題を認識し、それに対する事業者としての対策を提案しているか。
- ⑤基幹公共交通軸に求められる高いサービス水準を維持し、安全に運行するための体制や方法が提案されているか。(緊急時や苦情への対応、運転士の体調管理やマナー教育など)
- ⑥公設民営を踏まえた、持続可能な運営のため体制や資金調達について提案されているか。また、その根拠となる利用者数、運行経費等の根拠が明確かつ適正か。
- ⑦利用者を増やす工夫、自動車からの転換を促すための具体的な提案がされているか。
- ⑧想定需要を下回る等のリスクや対応策については提案されているか。
- ⑨平成26年度運行開始を目標として、工程管理や市民・地元との合意形成に向けて、市と協働で取り組む姿勢や具体的な提案が示されているか。等

2) BRT車両基地(車庫)について(A4縦1頁)

第1期導入区間にBRTを導入する場合、その車両を保管、点検整備するための車両基地(車庫)用地について、地図も含めてA4縦1頁内で具体的に記述して下さい。なお、所在地(住所)、面積、所有者の他、地図等を用いて周辺道路の状況、新潟駅までのアクセス道路と距離、所要時間について、また、アクセス道路において通行上の課題があれば詳細に記述して下さい。

確認事項

- ① 本事業を円滑に運行する上で、事業者が予定しているBRT車両基地(車庫)用地の位置や規模(広さ)などは適切か。
- ② 車両基地(車庫)用地は恒久的な施設としての運用が可能か。
- ③ 車両基地(車庫)用地と都心部間の道路網の現状と運用面での課題は認識されているか。 等

位置図(※第1期導入区間との位置関係がわかる図面)

3) バス路線再編計画の詳細について (A4 縦 2 頁内 ※参考資料については枚数制限を設けない)

本事業におけるバス路線再編計画について、様式5の記載事項に関する補足説明(バス路線再編計画を立案する上での留意点、および、その具体的な内容等)をA4縦2頁以内で記述してください。

なお、各路線ごとの再編案について、現状と再編後における下記項目について比較できるような路線網図や一覧表を参考資料としてA3横で別途添付してください。

【区間(起終点)、位置付け(幹線、フィーダー等)、運行距離、運行時間帯、バス停数、ピークとオフピークの便数(／日)、利用者数(／日、／年)、料金収入(／日、／年)、運行経費(／日、／年)等】

確認事項

- ① 都心軸におけるバス運行の効率化は図られているか。
- ② それによって各郊外路線のサービスレベルはどう変化しているか。
- ③ BRTとの乗換する郊外路線については運行頻度が増加しているか。
- ④ 現在都心軸に乗り入れている各バス路線について、再編パターン(専用走行路への乗り入れ、一般車線への乗り入れ、結節点でBRTへ乗換)について具体的にどのように考えているか。
- ⑤ バス利用者数を増やすための工夫が提案されているか。 等

4) 本事業に関連するその他提案について (A4 縦1頁)

実現性が高く効果的な追加提案がある場合、A4 縦1頁で記述してください。